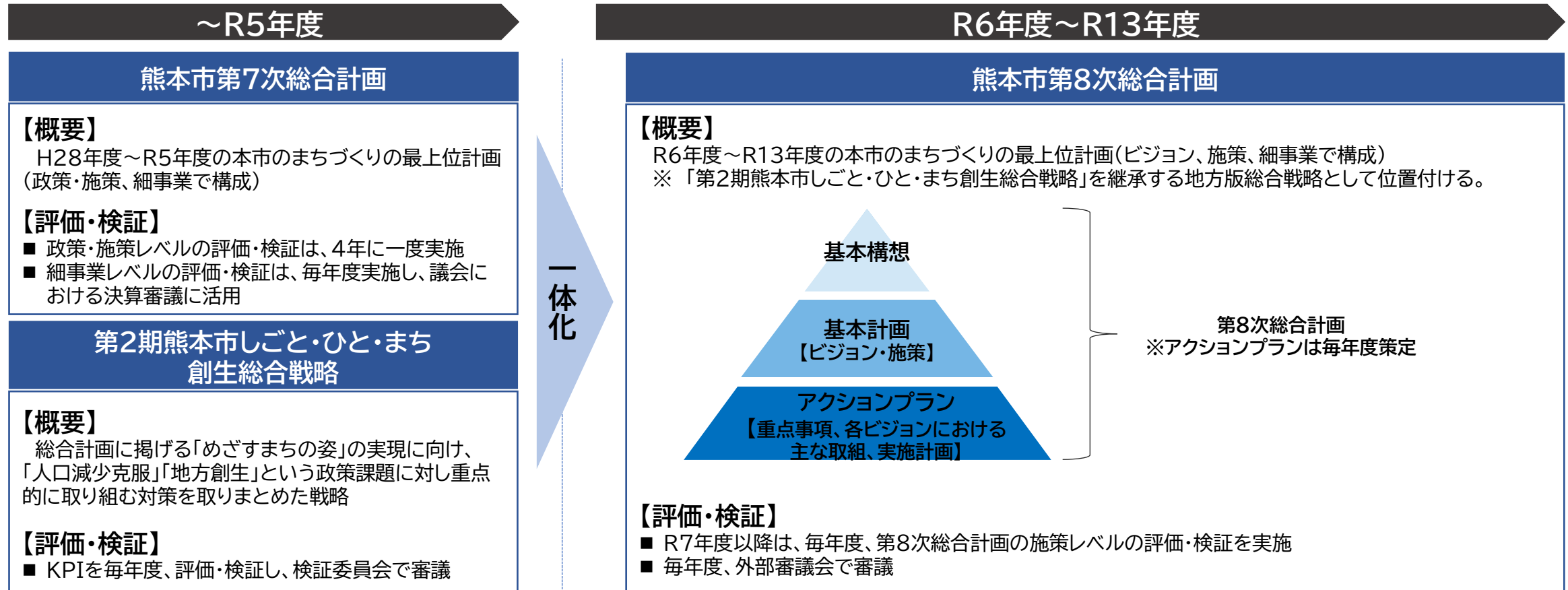


1 総合戦略と総合計画の一体化による今後の行政運営

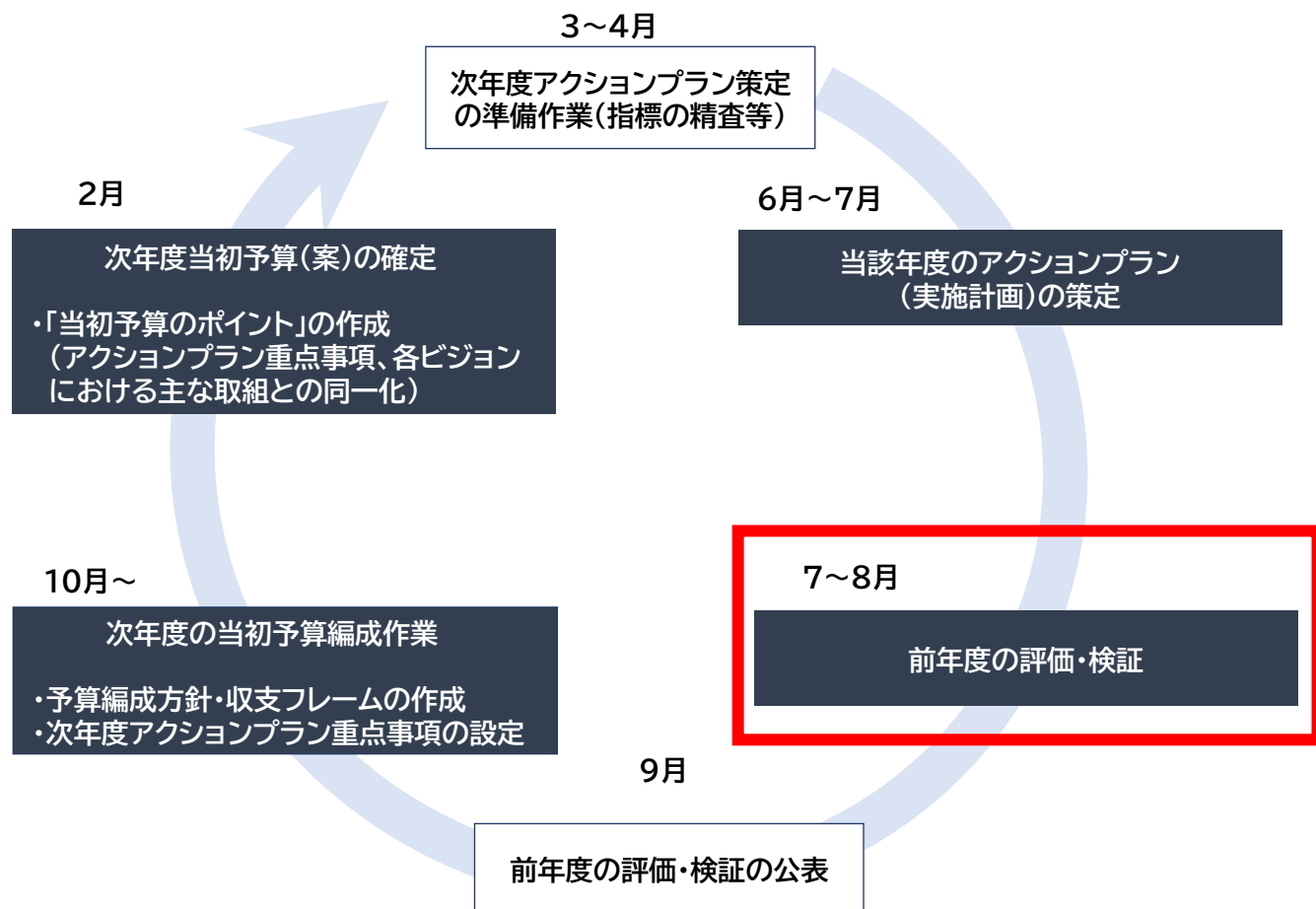
- 令和5年度までは、第7次総合計画と第2期 熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略に基づきまちづくりを進め、その評価・検証はそれぞれで実施してきた。(※)
- 令和6年度以降は、**第8次総合計画に総合戦略を一体化**して取組を進めていくとともに、**令和7年度以降は、第8次総合計画の評価・検証を毎年度行い、外部審議会**で審議していく。

※ 第7次総合計画の評価・検証については、別添「【参考資料】第7次総合計画の評価・検証について」を参照



2 第8次総合計画の着実な推進に向けたマネジメント(PDCA)サイクル

1. 年間を通して、第8次総合計画の「8つのビジョン」(P)について、事業の進捗状況(D)や前年度の評価・検証の結果を踏まえた課題の把握・分析(C)を行い、必要な施策展開のための調整や協議、企画立案(A)を行う。(PDCAサイクルの推進)
2. 特に、マニフェストの進捗管理や社会経済情勢の変化等を踏まえた新規拡充施策について、次年度予算で対応が必要なものは予算編成前に十分な検討を行うとともに、必要に応じて補正予算での対応を行う。
3. 庁内においても緊密な連携のもと、課題の共有と調整を図っていく。



【年間のマネジメント(PDCA)サイクル】

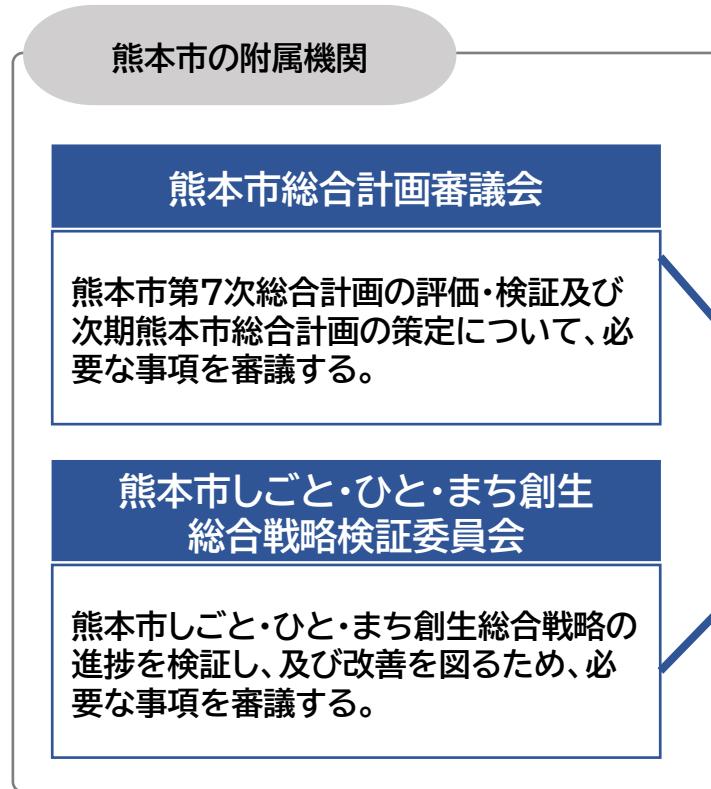
前年度の評価・検証、当該年度の事業やマニフェストの進捗管理、更には国の動向や社会経済情勢の変化等を踏まえ、次年度の施策展開へ繋げるマネジメントサイクルを構築します。

令和7年度以降は、7~8月頃に前年度の評価・検証を実施し、外部審議会で審議

3 次年度以降の検証委員会の方向性

- 総合計画と総合戦略でそれぞれ設置していた2つの附属機関を1つに統合し、第8次総合計画(=地方版総合戦略)の評価・検証等を行う外部審議会としてリニューアルを検討

現在の運用(～令和6年度)



令和7年度以降の運用

